名稱

隆盛ノ頃ヨリハ、恣ニ修姓スルコト行ハレ、菅原ヲ略シテ菅ト稱シ、藤原ヲ略シテ藤、又ハ滕ニ作ルガ如キ、此類甚多シ、然レドモ是レ唯漢土ノ風ニ傚ヘルモノニテ、固ヨリ私事ニ屬ス、

〔類聚名義抄女二〕姓

〔段註說文解字十二女〕姓　人所生也、按白虎通曰、姓者生也、人所稟天氣所以生者也、吹律定姓、故姓有百、按詩振振公姓、傳曰、公姓公生也、不如我同姓、傳曰、同姓同祖也、昭四年左傳問其姓、釋文云、女生曰姓、姓謂子也、定四年、蔡大夫公孫生、公穀皆作公孫姓、古之神聖人、母感天而生子、故偁天子、○略註　因生㠯爲姓、从女生、因生以爲姓、若下文神農母居姜水、因以爲姓、黃帝母居姬水、因以爲姓、舜母居姚虛、因以爲姓、姓是也、感天而生者母也、故姓从女生、會意、其子孫復析爲衆姓、如黃帝子二十五宗十二姓、則皆因生以爲姓也、生亦聲、○略註　春秋傳曰、天子由生㠯賜姓、

〔史記一五帝本紀〕帝禹爲夏后、而別氏、姓姒氏、契爲商、姓子氏、弃爲周、姓姬氏、駰案、鄭玄駁許愼五經異義曰、春秋左傳無駭卒、羽父請諡與族、公問族於衆仲、衆仲對曰、天子建德、因生以賜姓、胙之土、而命之氏、諸侯以字爲氏、因以爲族、官有世功、則有官族、邑亦如之、公命以字爲展氏、以此言之、天子賜姓命氏、諸侯命族、族者氏之別名也、姓者所以統繫百世使不別也、氏者所以別子孫之所出、故世本之篇、言姓則在上、言氏則在下也、

〔通志略一氏族〕三代之前、姓氏分而爲二、男子稱氏、婦人稱姓、氏所以別貴賤、貴者有氏、賤者有名無氏、○中略　姓所以別婚姻、故有同姓異姓庶姓之別、○中略　三代之後、姓氏合而爲一、皆所以別婚姻、而以地望明貴賤、於文女生爲姓、故姓之字多從女、如姬、姜、嬴、姒、嬀、姞、妘、㜏、姶、姺、嫪之類是也、

〔空穗物語藤原の君〕いやしき人のはらに生れ給へるみかどの御子、三春といふさう。〇姓〇を給はりて、わかきときより、くにをさめ、位まさり、とくのたかくなるまで、めもまうけず、つかひ人もつかはぬ人あり、

〔大鏡序〕さてもぬしのみなは、いかにぞやといふめれば、故太政大臣殿〇藤原忠平にて元服つかうまつりし時、きんぢがさう。〇さう、板本作しやう姓、今從一本、は、なにぞとおほせられしかば、なつやまとなん申と申しを、やがてしげきとなんつけさせ給へりしなどいふに、いとあさましくなりぬ、

〔古事記下履中〕此御世、於若櫻部臣等賜若櫻部名。